

第1回名寄市総合計画審議会（書面）の開催結果

- 1 議事（1）地方創生推進交付金事業の検証について
全委員より承認いただきました。
- 2 議事（2）名寄市総合計画（第2次）中期基本計画の中間検証について
全委員より承認いただきました。
- 3 いただいたご質問・ご意見について

議事（1）地方創生推進交付金事業の検証について

～ご意見～

合宿誘致では、夏場は具体的にどのような誘致をしているのでしょうか。

～回 答～

連携している企業・団体へ情報発信を依頼しているほか、阿部スポーツ振興アドバイザーはじめ、企業・団体のコネクションを活用した誘致・情報発信行っております。総体的な合宿情報（競技施設・宿泊等）については、Nスポーツコミッションホームページにて発信を行っております。

また、新たな夏季の合宿誘致として、Nスポーツコミッション（名寄旅館業組合連携）が主体となり、名寄地区サッカー協会の協力のもと市外の高校サッカー部の合宿誘致を図り、地元高校サッカー部との合同合宿等も計画しております。

（総合政策部スポーツ合宿推進課）

～ご意見～

スポーツフード事業の「カラダメシ」はどのような普及活動を行っているのか。市民への周知方法等。

～回 答～

「カラダメシ」は今年2月にコンセプト等が確立し、参画していただける飲食宿泊業者へ情報発信を行っており、現在、2社が商品を開発していただいております。商品をホームページ等において市民及び合宿情報として発信していくとともに、各スポーツイベントにおいても積極的に活用して参画事業者を増やすとともに市民周知を図っていきたいと考えております。

（総合政策部スポーツ合宿推進課）

～ご意見～

Nスポ健康ステーションは、市民参加型で中心街の賑わいや活性化につながりとても良い企画と思いますが、参加の半数は70代であり、参加しやすい曜日や時間帯など検討したらよいと思う。

～回 答～

今年度は、スポーツドクターによるオンライン講座や、名寄出身のアスリートの試合を応援するパブリックビュー等のイベントほか、幅広い世代が集う日時・場所について検討した上で、実施していきたいと考えております。

(総合政策部スポーツ合宿推進課)

～ご意見～

交流人口の拡大は、今後数年にわたって新型コロナの影響を強く受けると思います。

特にインバウンドは厳しい状況が続くような印象を受けます。

今後も収束後を見据えての準備をよろしく願いいたします。

～回 答～

インバウンドによる交流人口の拡大は非常に厳しい状況となっておりますが、昨年度作成した素材を活用したプロモーションや、地域資源を活用したツーリズム商品の開発等、コロナ収束後を見据えた事業を展開してまいります。

(総合政策部スポーツ合宿推進課)

～ご意見～

コロナ禍で在宅就労が急増など働き方が依然と比べ様変わりしたと思います。収束後に「スポーツ移住」などの取り組みが注目される可能性もあると思います。本事業に限った事ではありませんが、現在の取り組みを継続することが後に良い結果に結びつくと思います。

～回 答～

見通しが不透明な状況ではありますが、「今できること」「将来に向けてやっておくこと」というコンセプトで事業を進めております。コロナ収束後に多くの人達が名寄に訪れていただけるよう継続的な事業を進めてまいります。

(総合政策部スポーツ合宿推進課)

～ご意見～

関連商品開発事業で、素晴らしいパンフレットや動画を作成しているが、PRが足りていなく、一般市民の認知が低いと思います。せっかく投資をした成果品ですから、積極的に市民の目に触れるようにネットへ公開するなどした方が良いでしょう。

～回答～

動画やパンフレットデータはNスポーツコミッションホームページ（なよろスポーツナビ）、SNS等で発信しておりますが、更なる発信（拡散）を行なうなどプロモーションに取り組みたいと考えております。

また、パンフレット（紙媒体）においても、空港・駅等に設置や旅行代理店への送付など、広く情報発信を行うとともに、市民の皆様目の目にも触れるよう検討していきたいと考えております。

（総合政策部スポーツ合宿推進課）

～ご意見～

各事業について苦勞されながら事業展開を進めておられると感じております。その上で、1点お願いなのですが、②スキー場等インバウンド拡大事業につきまして、拡大は良いのですが、同時に「安全に楽しく」外国人スキーヤーが楽しめる受け入れ体制づくりをお願いします。例えば、外国人スキーヤーのうち、雪がない国からのファミリー層はゲレンデスキーを楽しんでいますが、パウダースノーを求める層は、ゲレンデの滑走禁止エリアや、スキー場管理エリア外を目的としています。禁止することは簡単ですが、できることならば、禁止よりも管理を、またそれを英語で明示する体制整備を進めてください。現場で対応されている方がとても大変そうでした。

～回答～

ピヤシリスキー場における外国人利用者につきましては、令和元年度シーズンは全国的な雪不足だったため、新型コロナウイルス感染症による影響を受ける前の2月初旬まで、例年に比べ特に多くの欧米系外国人が訪れました。ピヤシリスキー場では、パウダースノーを楽しんでいただくために、未圧雪エリアを設けていますが、コース外を滑走する方も多く見られたところです。

コース外は、スキー場の安全管理の対象外であることから、利用者の安全確保のために、現時点ではコース外の利用を控えていただく必要があることをご理解ください。その旨を外国人利用者にお伝えするため、既に一部箇所・媒体で多言語表記を実施していますが、より多くの機会・場所での注意喚起となるよう努めてまいります。

パウダースノーを安全に楽しく利用いただくために、スキー場の指定管理者やスキー・スノーボードの各関係者・団体等の意見交換の場を設けるほか、コース外滑走時の事故を含む冬山遭難に備えた関係機関連携組織での協議も進めており、新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド回復に備え、体制づくり・ルール作りについても努めてまいります。

（経済部産業振興課）

～ご意見～

地域資源を活用したスポーツ×交流イノベーションということで、名寄の気候や地形だから出来ることを考え、それが活性化に繋がったらとても素晴らしいと思います。地の利はたくさんあると思うので、いろんな分野の方々と力を合わせながら取り組んで行きたいと思います。

議事（２）名寄市総合計画（第２次）中期基本計画の中間検証について

～ご意見～

コロナの影響が改善した段階で、計画の見直しが必要となると考えます。

現状では如何ともしがたい部分はあるにしても、見直し段階での早急にプロジェクトが達成できるような方法を整理しておいて頂きたいと思います。

～回 答～

中期基本計画期間は残り２年（令和４年度まで）となっており、目標年次である令和４年度の達成に向け、取組を進めております。引き続き、達成に向けた取組を進めていくとともに、次期計画（後期計画）に向け、コロナの影響も踏まえた計画の見直しを検討してまいります。

（総合政策部総合政策課）

～ご意見～

新型コロナの影響の有無に関わらず、KPIの達成率が低い部分がある印象を受けます。

新型コロナ以外の原因、要因を押さえておいてください。

～回 答～

目標年次での達成に向けたKPIの数値であるため、現時点での達成率が低く見えている可能性があります。しかし、コロナ以外の要因で進捗率の伸びが悪いものもあると考えられます。引き続き、各部署でKPI達成に向けて、取組や分析を行ってまいります。

（総合政策部総合政策課）

～ご意見～

とても分かりやすい検証結果で、おおむね理解できました。

コロナの影響を多大に受けているものの、それぞれの事業で着実に進捗をはかっていることが良く理解できました。

その他のご意見

～ご意見～

「カラダメシ」は、例えばNスポで行っている「街なかウォーキング」でお弁当（カラダメシ）をウォーキングとランチとセットにすることで、市民が飲食し冊子やお店のチラシなど同時に配布すると、運動・食べる・学ぶが一度に実行できる企画であり、その実績が合宿誘致などに活用できるのではないかと思います。

～回 答～

5月の第1回の街なかウォーキングで企画していましたが、新型コロナウイルス及び雨天のため中止となってしまいました。しかし、街なかウォーキングにおいては、9月まで計画されていることから積極的に活用するとともに、各種スポーツイベントにおいても周知を図っていきたいと考えております。

(総合政策部スポーツ合宿推進課)

～ご意見～

コロナ禍で先の見通しが立たないなか、達成率が意外と高いなという印象です。今後、どのように緩和されていくか不透明ですが、感染対策をしながら事業の継続および目標値に近づけるよう考えていきたいと思っております。